

《7月の番組ガイド》

鳥取市行政番組

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土  
 鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【話題・特集】

- ▷鳥取駅前太平洋線大屋根完成
- ▷地域づくり懇談会
- ▷まちパル鳥取OPEN
- ▷海開き



昨年の「白兎海岸海開き」

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週水・木・金・土



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばぴよんぴよんネット  
 自主制作番組

番組の放送時間や内容はホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

ネットメロンやハウスブドウ、桃など収穫の話題や、水稻の穂肥についての栽培技術情報などを紹介します。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

小学校の新一年生の元気な学校生活の様子を紹介する『こんにちは一年生』を放送中です。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

鳥取市インフォメーションを設置しました!

イオン鳥取北店西エスカレーター横に鳥取市インフォメーションを設置しました。行政番組や文字放送の視聴のほか、とっとり市報や各種お知らせなどもお手軽に入手できます。ぜひご利用ください。

情報をお寄せください!

いなばぴよんぴよんネット ☎ 0857-22-6111  
 ※放送予定は予告なく変更することがあります。  
 番組の放送時間は、ホームページでも紹介しています。  
<http://www.inabapyonpyon.net>



「オペラってなんだいな?」と題してこの夏の初公演。キャストは、鳥取市出身で現在ドイツやオーストリアの劇場で活躍中の歌手、谷口伸さん

と藤田俊介さん、鳥取県声楽オーディション知事賞受賞の浦池佑佳さんに加え、ドイツなどで活躍中のルーベン・ゲルソンさん、キム・ヘヨンさんという豪華な顔ぶれだ。一流の歌手たちと同じ舞台上立つ合唱団のみなさんは「緊張します。でも楽しみます」と興奮交じりに話す。

童謡・唱歌のふるさと鳥取市で、新たなオペラ『ムジークテアター』の幕が開く。8月3日、どのような公演になるのか。宮永さんをはじめ、合唱団員も期待に胸を弾ませる。



メンバー手作りの新聞で活動やオペラの魅力を伝えている

楽譜が読めなくてもいい

「もっと気持ちを入れて歌って」と、身振り手振りで指導にあたる演出家、宮永あやみさん(42)は、現在オーストリア・ザルツブルク在住。1999年から10年ほど鳥取市で市民ミュージカルなどを主宰した後、演出の勉強のため渡欧。ドイツで主流の『ムジークテアター』(ドイツ語で音楽劇という意味)に心を奪われる。ムジークテアター

「歌に自信のない方大歓迎です。まずは入ってきて!」と、宮永さんは、純粋な土地柄の鳥取は自由な表現ができ、一番自然な感性で観てもらえる所だと感じ、鳥取でムジークテアターを行いたいと鳥取時代の知人らに声をかけ、昨年夏「ムジークテアター・TOTTORI」を結成した。

鳥取人はオペラ向き!?

8月3日の初公演に向けて結成時から重ねてきた練習

「鳥取は面白いものを面白いと素直に感じてもらえる人が多い土地です」と宮永さ

シリーズ **元気です**

136

オペラって楽しい!

ムジークテアター・TOTTORI 合唱団



市民合唱団を募集したところ、高校生から60代までさまざまな職業のメンバーが集まり、現在は40人ほどになった。経験者もいるが、半数以上が全くの初心者だったという。「カラオケが得意だから」と友人に誘われて参加した岡垣俊範さん(64)は「楽譜は読めないが楽しい。仲間ができて、練習後の飲み会も最高」と、満面の笑みで語る。

も、現在大詰め。公民館などでは毎週末、合唱団の歌声が響いている。初めは上手く音がとれず、緊張してなかなか声が出ない姿もあったとか。練習法は、パートごとに録音したテープを一人ひとりに配付し、それを通勤途中や家で繰り返し聞く「聞き覚え」が中心。今では、みんなが堂々と歌声を響かせている。海外に身を置く宮永さんは、メンバーにオペラを身近に感じてもらうとうとウェブカメラを活用して、オペラの歴史や作品、作曲家について何度も語って伝えた。宮永さんが帰国した5月からは、舞台を想定して演じながら歌う立ち稽古が始まり、練習に一層力が入る。



熱心に指導する宮永さん